

たんぽぽだより

2019年 4月号

たんぽぽの保育目標



生きる力をはぐくむ(10年先を見すえた保育)

自分で考え 自分で行動できる人
ひとに優しい人
誰とでも仲良しになれる人
いのちを大切にする人
感謝の出来る人

もうすぐ平成も終わりますそしていよいよ新しい年“令和”が始まります。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

保育サロンたんぽぽは、年齢の小さい子が中心の保育園です。人の人生の中ではたった数年ですが、人の一生の中で一番成長する大事な基礎の部分の時期です。

この時期にどれだけ

《私は大事な存在であり、そのまま素晴らしい存在なんだ。》

という自尊感情がしっかりとあることが大きな根っこを育てます。その為には、【ありのままのわたし】を無条件(たとえ悪い事をしたとしても)に受け入れてくれる存在が必要なのです。どれだけ**子供が愛情を感じているか**と言う事が大事なのです。

どうすれば愛情を感じれるか？

それはスキンシップとコミュニケーションです。

まずはスキンシップです。だっこする、おんぶする、手をつなぐ、話す時は子どもの目線で話す。これらの事を行えば、幸せホルモンと言われる、オキシトシンが分泌されます。オキシトシンが出ることでストレスに強くなり、それによって免疫機能が上がります。つまりは病気になりにくくなるのです。

二番目はコミュニケーション・言葉で伝える事です。子どもだからと思って説明もなしに、何かをさせたり、辞めさせたりしないで、理由や原因をきちんと伝える事が大事です。

そして子どもとした**約束は守る事**です。どんな小さなことでもです。「ちょっと待ってね」って言った事は**例え子どもが忘れて**いるように見えても、**覚えていないように見えても**です。

こう言った事で子どもは大人への信頼感を作っていくのだと思います。**それでは4月の保育内容です。**

保育サロン
たんぽぽ

今月の目標：新しい環境の変化に慣れる

ねらい：みんなとなかよくなろう。春を感じる。

つぼみ組【0歳児】：・安心できる雰囲気の中、保育者と関わりながら信頼関係を深める。
一人一人の生活リズムを大切に受け止めてもらい、心地よく過ごす。

もも組【1歳児】：保育者とのかかわりを通して安心して園生活を過ごせるようになる。

ゆり組【2歳児】：新しい環境に慣れ、自分の好きな遊びを見つけ楽しく過ごす。

4月の保育内容

養護

つぼみ組：ゆったりとした環境の中で保育者や友だちと一緒に過ごす。一人一人がゆったりと過ごし、授乳や睡眠などの生活リズムが整うようにする。一人一人の要求を受け止め、温かいかわりの中で安心して過ごせるようにする。

もも組：美味しく食事ができるよう言葉かけや介助をする。オムツ替えなどでやさしく声かけをし不安を解消する。満足感を感じられるようじっくり関わる。

ゆり組：食事、排泄、午睡が安心してできるように一人一人に合った対応をする。要求や不安を保育士に受容してもらい、安心して自分を表せるようにする。

教育

つぼみ組：おなかが空いたこと、オムツが汚れたことなど不快な気持ちを表現する。保育者と触れ合いながら安心して入眠する。様々な味を知り、離乳食に慣れる。落ち着いた雰囲気の中で授乳をし、満足感を得られるようにする。保育者との触れ合いに安心する。保育者との触れ合いを楽しむ中で、喃語を発する。気に入った玩具やいろいろな素材の玩具を手にして遊ぶ。保育者との関わりの中で、泣いたり笑ったりして自分の思いを表現する

もも組：不安になっている子供には寄り添い安心感を持つ。うまく出来たことをほめて自信が持てるようにする。安全に活動できるよう目配りする。

ゆり組：楽しい雰囲気の中で食事をし、自分で食べる気持ちを大切にしながら援助していく。手洗いや手拭き、歯磨きを自分でする。保育士に見守られ睡眠や排泄を安心して行う。保育士や友達と心穏やかに安心して過ごす。自分の思いを言葉で伝えたり、手遊びや歌を通して言葉の響きを楽しむ。自分のマークを覚え、自分の持ち物をわかるように配慮する。クレヨンを使って、自由にお絵描きを楽しむ。

職員

保育サロンのたんぽぽ

平成31年度

園長：谷口真紀子 副園長：瀬之口恵美

つぼみ組担任：矢野尚美・山口由美子・宮崎紀子

もも組担任：西首友子・春田里美

ゆり組担任：田川明美・田島結香

サポート保育士：小深田愛子・永田淳子・松尾恵

給食：伊藤寿美子

事務兼保育補助：谷口佳代子